

# 群馬大学大学院工学研究科規程

平成16. 4. 1 制定

改正 平成17. 4. 1 平成18. 4. 1  
平成19. 4. 1 平成20. 4. 1  
平成27. 4. 1

## 第1章 総 則

第1条 群馬大学大学院工学研究科（以下「研究科」という。）に関し必要な事項は、群馬大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）及び群馬大学学位規則に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

第2条 研究科は、学理の探究と新技術の創造を目指し、急激に変化する産業界に迅速かつ柔軟に対応するとともに、未来社会の創造に貢献することを目的とする。

2 前項の目的を達成するため、次の各号に掲げる目標の実現に努めるものとする。

- (1) 先端的な科学技術を担い国際的に活躍できる人材の育成
- (2) 世界をリードする創造的教育研究拠点の形成
- (3) 産学官連携、地域連携及び国際交流による社会的貢献

## 第2章 指導教員

第3条 学生は、指導教員の指導の下に研究並びに履修を行うものとする。

第4条 前条の指導教員は、研究科長が定める。

## 第3章 履 修

第5条 研究科における授業科目及び単位数は、別表第1（博士前期課程）、別表第2（博士後期課程）のとおりとする。

第6条 研究科における授業及び研究指導は、夜間その他特定の時間又は時期において行うことができる。

2 教育方法の特例に関して必要な事項は、別に定める。

3 博士前期課程 4 大学院先進創生情報学教育研究プログラム実施に関し必要な事項は、別に定める。

第7条 学生は、学期始めの指定された期日までに、履修しようとする授業科目を指導教員を経て研究科長に届け出るものとする。

第8条 指導教員が必要と認めて他の専攻の授業科目を選択履修させた場合は、履修単位として認定することができる。

第9条 学生は、研究科と他の大学院との協議に基づき、当該他の大学院の授業科目を履

修することができるものとし、履修期間は、履修に必要な所定の期間とする。

2 前項の規定により履修した単位は、10単位を限度に履修単位として認定することができる。

3 第1項の規定による履修を志望する学生は、指導教員を経て研究科長の許可を得なければならない。

第10条 外国の大学院に留学を志望する学生は、研究科長を経て学長に願い出てその許可を得なければならない。

2 前項の許可を得て留学した期間は、1年を超えない範囲を原則として修業年限に算入することができる。

3 第9条の規定は、学生が留学する場合に準用する。

第11条 他の大学院（外国の大学院を含む。以下同じ。）に履修を認められた学生は、履修を修了したときは、直ちに指導教員を経て研究科長に、履修報告書及び当該他の大学院の交付する学業成績証明書を提出しなければならない。

#### 第4章 学位論文及び最終試験

第12条 学生は、学位論文の題目を指定された期日までに、指導教員を経て研究科長に届け出るものとする。

第13条 学位論文は、指定された期日までに指導教員を経て研究科長に提出するものとする。

2 研究科長は、学位論文を受理したときは、教授会の審査に付さなければならない。

第14条 前条の規定による学位論文の審査は、大学院学則第19条第1項、第3項及び第4項までの規定に基づき、審査委員を選定して行うものとする。

2 学位論文審査のため必要があるときは、学位論文の副本、訳本、模型又は標本等の資料を提出させることができる。

第15条 審査委員は、学位論文の審査が終了したときは、速やかにその結果を教授会に、文書をもって報告するものとする。

第16条 最終試験は、大学院学則第20条の規定に基づき、行うものとする。

#### 第5章 特別聴講学生、科目等履修生、研究生、聴講生及び外国人留学生

第17条 科目等履修生、聴講生及び外国人留学生として入学できる者は、大学院学則第26条第1項又は第27条の各号の一に該当する者とする。

第18条 研究生として入学できる者は、博士前期課程にあつては大学院学則第27条の各号の一に該当する者、博士後期課程にあつては博士の学位を有する者又は研究科において、博士の学位を有する者と同等以上の研究能力があると認められた者とする。

第19条 科目等履修生、研究生及び聴講生の入学は、学生の履修に支障のない場合に限り、選考の上、学長が許可することがある。

第20条 外国人で、研究科に入学を志望する者がいるときは、選考の上、定員外として入学を、学長が許可することがある。

第21条 他の大学院の学生で、研究科の授業科目の履修を志願する者があるときは、研究科と当該他の大学院との協議に基づき、特別聴講学生として受入れを許可することができる。

2 特別聴講学生の受入れは、各学期の始めとし、履修期間は、履修する授業科目の授業期間内とする。

第22条 特別聴講学生、科目等履修生、研究生、聴講生及び外国人留学生については、この規程に定めるもののほか、群馬大学工学部規程を準用する。

## 第6章 教務・厚生

第23条 研究科学生の教務及び厚生補導に関しては、教務委員会において処理する。

## 第7章 規程の改廃

第24条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、研究科長が行う。

### 附 則

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

2 改正後の規程は、博士前期課程平成17年度入学者並びに博士後期課程平成17年度編入学者及び進学者から適用し、平成17年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

### 附 則

1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。

2 改正後の規程は、博士前期課程平成18年度入学者並びに博士後期課程平成18年度編入学者及び進学者から適用し、平成18年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

### 附 則

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

2 改正後の規程は、博士前期課程平成19年度入学者並びに博士後期課程平成19年度編入学者及び進学者から適用し、平成18年度以前の入学者については、なお従前の例による。

### 附 則

1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。

2 改正後の規程は、博士前期課程平成20年度入学者並びに博士後期課程平成20年度編入学者及び進学者から適用し、平成19年度以前の入学者については、なお従前の例による。

### 附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

## 別表第1 (第5条関係)

工学研究科

博士前期課程

専攻	授業科目	単位				備考
		講義	演習	実験	実習	
応用化学・生物化学専攻	(基盤科目)	2				<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期課程を通して、工学特別演習4単位及び工学特別実験8単位を修得すること。※</li> <li>・上記以外に講義科目、実習科目のうち20単位を修得すること。ただし、そのうち2単位以上を研究科共通科目または他専攻の開放専攻科目から修得すること。※</li> <li>・講義科目10単位まで研究科共通科目または他専攻の開放専攻科目または他専攻の講義科目で振り替えて修得することができる。</li> </ul>
	☆ 固体化学特論	2				
	☆ 物理化学特論 I	2				
	☆ 有機構造化学特論	2				
	☆ 生物有機化学特論 I	2				
	☆ 生物機能工学特論	2				
	☆ 高分子化学特論	2				
	(展開科目)	2				
	錯体化学特論	2				
	分析化学特論	2				
	分離化学特論	2				
	資源化学特論	2				
	無機固体・表面化学特論	2				
	物理化学特論 II	2				
	物理化学特論 III	2				
	物理化学特論 IV	2				
	有機反応化学特論	2				
	有機合成化学特論	2				
	有機元素化学特論	2				
	生物物理化学特論	2				
	生物物理学特論	2				
	分子生物学特論	2				
	生物有機化学特論 II	2				
	構造生物化学特論	2				
	構造生物物理特論	2				
	高分子成形加工特論	2				
	ファイブバイオ工学特論	2				
	科学研究発表技法	2				
	放射線利用環境浄化技術特論	2				
	化学計量標準特論	2				
	量子ビーム利用機能性材料創製特論	2				
	機能生物学特別講義 I	2				
機能生物学特別講義 II	2					
免疫生物学工学	2					
応用化学・生物化学特別講義 I	1					
応用化学・生物化学特別講義 II	1					
応用化学・生物化学特別講義 III	1					
応用化学・生物化学特別講義 IV	1					

☆は開放専攻科目である。

専攻	授業科目	単位				備考
		講義	演習	実験	実習	
機械システム工学専攻	(基盤科目)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期課程を通して、工学特別演習4単位及び工学特別実験8単位を修得すること。 ※</li> <li>・上記以外に講義科目、実習科目のうち20単位を修得すること。ただし、そのうち2単位以上を研究科共通科目または他専攻の開放専攻科目から修得すること。 ※</li> <li>・講義科目10単位まで研究科共通科目または他専攻の開放専攻科目または他専攻の講義科目で振り替えて修得することができる。</li> </ul>
	エネルギー変換工学特論Ⅰ	2				
	固体力学特論	2				
	構造のダイナミクス	2				
	(展開科目)					
	熱流体工学特論	2				
	エネルギー変換工学特論Ⅱ	2				
	エネルギーシステム工学特論	2				
	エネルギー計測工学	2				
	エネルギー解析工学Ⅰ	2				
	エネルギー解析工学Ⅱ	2				
	圧縮性流体力学	2				
	破壊力学	2				
	材料設計工学特論	2				
	材料加工学特論	2				
	ナノメカニクス特論	2				
	構造信頼性工学特論	2				
	機械のダイナミクス	2				
	弾性波動工学	2				
	ロボット工学特論	2				
	計測制御工学特論	2				
知能機械工学	2					
信号処理工学特論	2					
機械システム工学特別講義Ⅰ	2					
機械システム工学特別講義Ⅱ	2					
振動騒音シミュレーション	2					
熱流体シミュレーション	2					
生産技術シミュレーション	2					

専攻	授業科目	単位				備考
		講義	演習	実験	実習	
生産システム工学専攻	(基盤科目)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期課程を通して、工学特別演習4単位及び工学特別実験8単位を修得すること。※</li> <li>・上記以外に講義科目、実習科目のうち20単位を修得すること。ただし、そのうち2単位以上を研究科共通科目または他専攻の開放専攻科目から修得すること。※</li> <li>・講義科目10単位まで研究科共通科目または他専攻の開放専攻科目または他専攻の講義科目で振り替えて修得することができる。</li> </ul>
	☆高分子材料特論	2				
	☆創形学特論	2				
	☆精密加工特論	2				
	☆先端計測制御特論	2				
	(展開科目)					
	技術英語特論	2				
	高分子材料解析特論	2				
	プラズマ加工学特論	2				
	塑性加工学特論	2				
	人間情報工学	2				
	振動騒音シミュレーション	2				
	熱流体シミュレーション	1				
	生産技術シミュレーション	1				
	金型生産システム特論	2				
	生産システム特論	2				
	品質工学特論	2				
	電子工学特論	2				
	シミュレーションとナノ計測工学特論	2				
	電子材料物性論	2				
	スピントロニクス工学特論	2				
	電子デバイス工学特論	2				
	先端デバイス工学特論	2				
	コンピュータシステム特論	2				
	複雑系特論	2				
	人工知能特論	2				
地域産業特論	2					
MOT特論	2					
特別講義	2					

☆は開放専攻科目である。

専攻	授業科目	単位				備考
		講義	演習	実験	実習	
環境プロセス工学専攻	(基盤科目)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期課程を通して、工学特別演習4単位及び工学特別実験8単位を修得すること。※</li> <li>・上記以外に講義科目、実習科目のうち20単位を修得すること。ただし、そのうち2単位以上を研究科共通科目または他専攻の開放専攻科目から修得すること。※</li> <li>・講義科目10単位まで研究科共通科目または他専攻の開放専攻科目または他専攻の講義科目で振り替えて修得することができる。</li> <li>・「環境プロセス工学ティーチング実習」を修得すること。</li> <li>・「環境プロセス工学特別講義Ⅲ」は開講しないことがある。</li> </ul>
	反応プロセス工学特論	2				
	分離プロセス工学特論	2				
	(展開科目)					
	エネルギープロセス工学特論	2				
	バイオプロセス工学特論	2				
	環境化学プロセス特論	2				
	材料プロセス工学特論	2				
	微小プロセス操作特論	2				
	プロセスシステム工学特論	2				
	分子設計プロセス特論	2				
	環境プロセス工学特別講義Ⅰ	2				
	環境プロセス工学特別講義Ⅱ	2				
	環境プロセス工学特別講義Ⅲ	2				
燃焼環境工学	2					
エアロゾル工学	2					
環境プロセス工学ティーチング実習				2		

・環境プロセス工学特別講義は開講されない年度もある。

専攻	授業科目	単位				備考
		講義	演習	実験	実習	
社会環境デザイン工学専攻	(基盤科目)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会環境工学特別講義Ⅰ・社会環境工学特別講義Ⅳ」と「社会環境工学特別講義Ⅱ・社会環境工学特別講義Ⅲ」は、当該組み合わせの科目を隔年毎に開講する。</li> <li>・前期課程を通して、工学特別演習4単位及び工学特別実験8単位を修得すること。※</li> <li>・上記以外に講義科目、実習科目のうち20単位を修得すること。ただし、そのうち2単位以上を研究科共通科目または他専攻の開放専攻科目から修得すること。※</li> <li>・講義科目10単位まで研究科共通科目または他専攻の開放専攻科目または他専攻の講義科目で振り替えて修得することができる。</li> </ul>
	構造材料工学特論	2				
	地盤環境・防災工学特論	2				
	環境整備工学特論	2				
	水文学特論	2				
	地域科学特論	2				
	(展開科目)					
	河川水理学特論	2				
	構造解析学特論	2				
	☆地盤力学特論	2				
	環境バイオテクノロジー特論	2				
	都市・交通工学特論	2				
	社会環境工学特別講義Ⅰ	2				
	社会環境工学特別講義Ⅱ	2				
	社会環境工学特別講義Ⅲ	1				
	社会環境工学特別講義Ⅳ	1				
燃焼環境工学	2					
エーロゾル工学	2					

☆は開放専攻科目である。



専攻	授業科目	単位				備考
		講義	演習	実験	実習	
電 気 電 子 工 学 専 攻	(基盤科目)					<p>・前期課程を通して、工学特別演習4単位及び工学特別実験8単位を修得すること。※</p> <p>・上記以外に講義科目、実習科目のうち20単位を修得すること。ただし、そのうち2単位以上を研究科共通科目または他専攻の開放専攻科目から修得すること。※</p> <p>・講義科目10単位まで研究科共通科目または他専攻の開放専攻科目または他専攻の講義科目で振り替えて修得することができる。</p>
	電子材料物性特論A	2				
	電気理論特論A	2				
	情報工学特論A	2				
	(展開科目)					
	電子材料物性特論B	2				
	固体物性工学特論A	2				
	固体物性工学特論B	2				
	電子デバイス工学特論A	2				
	電子デバイス工学特論B	2				
	電気理論特論B	2				
	エネルギー変換工学特論A	2				
	エネルギー変換工学特論B	2				
	気体電子工学特論A	2				
	気体電子工学特論B	2				
	量子電子工学特論A	2				
	量子電子工学特論B	2				
	計測制御工学特論A	2				
	計測制御工学特論B	2				
	電磁波工学特論A	2				
	電磁波工学特論B	2				
	情報通信工学特論	2				
	計算機工学特論A	2				
	計算機工学特論B	2				
	情報工学特論B	2				
	知能システム工学特論A	2				
	知能システム工学特論B	2				
	光デバイス工学特論A	2				
	光デバイス工学特論B	2				
	☆量子物理学	2				
	☆固体物理学第一	2				
	☆固体物理学第二	2				
	☆統計物理学第一	2				
	統計物理学第二	2				
	固体構造工学特論	2				
	光物性物理学	2				
	電子応用特別講義	2				
	通信処理特別講義	2				
	電気電子特別講義	2				
	物性物理学特別講義	1				
電子回路工学	2					
パワーエレクトロニクス回路工学論	2					
アナログ集積回路工学論	2					
システム集積回路工学論	2					
集積回路設計技術	2					
微細デバイス技術	2					
Soc物理設計技術	2					

☆は開放専攻科目である。

専攻	授業科目	単位				備考
		講義	演習	実験	実習	
情報工学専攻	(基盤科目)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期課程を通して、工学特別演習4単位及び工学特別実験8単位を修得すること。*</li> <li>・上記以外に講義科目、実習科目のうち20単位を修得すること。ただし、そのうち2単位以上を研究科共通科目または他専攻の開放専攻科目から修得すること。*</li> <li>・講義科目10単位まで研究科共通科目または他専攻の開放専攻科目または他専攻の講義科目で振り替えて修得することができる。</li> </ul>
	情報と符号特論	2				
	アルゴリズム論	2				
	ソフトウェア工学特論	2				
	計算機工学特論	2				
	(展開科目)					
	情報数理工学特論	2				
	離散構造特論	2				
	データ解析特論	2				
	経営工学特論	2				
	計算量特論	2				
	計算理論特論	2				
	プログラミング言語特論	2				
	計算機構成特論	2				
	計算機網工学特論	2				
	モバイルコンピューティング	2				
	情報セキュリティ特論	2				
	情報システム工学特論	2				
	知識情報処理特論	2				
	人工知能特論	2				
	画像情報工学Ⅰ	2				
	画像情報工学Ⅱ	2				
	データベースシステム実装法	2				
	データベース工学	2				
	生物情報学特論	2				
	情報処理特論	2				
	情報工学特論Ⅰ	2				
	情報工学特論Ⅱ	2				
	情報工学特論Ⅲ	2				
	情報工学特論Ⅳ	2				
	☆応用解析学特論第1	2				
	☆応用解析学特論第2	2				
☆応用解析学特論第3	2					
☆関数解析学特論第1	2					
☆関数解析学特論第2	2					
応用数学特別講義	2					
応用統計学特論	2					
☆代数学特論1	2					
☆代数学特論2	2					

☆は開放専攻科目である。

専攻	授業科目	単 位				備 考
		講義	演習	実験	実習	
研 究 科 共 通 科 目	論文発表技法特論	2				各専攻の規程に従う。
	コミュニケーション技術Ⅰ	1				
	コミュニケーション技術Ⅱ	1				
	テクノロジーマネジメントⅠ	1				
	テクノロジーマネジメントⅡ	1				
	テクノロジーマネジメントⅢ	1				
	産業技術論	2				
	医理工連携特論	2				
	データ解析	2				
	産業創生方法論	2				
	工学基礎インテンシブⅠ	1				
	工学基礎インテンシブⅡ	1				
	工学基礎インテンシブⅢ	1				
	工学基礎インテンシブⅣ	1				
	工学基礎インテンシブⅤ	1				
	基礎工学特論 1	2				
	基礎工学特論 2	2				
	基礎工学特論 3	2				
	エレメント・イノベーション概論	2				
	エレメント・イノベーション特別講義	1				
	エレメント・イノベーション連携講座特別講義	1				
	インターンシップ				2	
	派遣型インターンシップ				4	
工学特別実験			8			
工学特別演習		4				

専攻	授業科目	単位				備考
		講義	演習	実験	実習	
開放専攻科目	関数解析学特論第1	2				各専攻の規程に従う。
	関数解析学特論第2	2				
	応用解析学特論第1	2				
	応用解析学特論第2	2				
	応用解析学特論第3	2				
	代数学特論第1	2				
	代数学特論第2					
	量子物理学	2				
	固体物理学第一	2				
	固体物理学第二	2				
	統計物理学第一	2				
	高分子材料特論	2				
	創形学特論	2				
	精密加工特論	2				
	先端計測制御特論	2				
	生物情報学特論	2				
	固体化学特論	2				
	物理化学特論 I	2				
	有機構造化学特論	2				
	生物有機化学特論 I	2				
生物機能工学特論	2					
高分子化学特論	2					
地盤力学特論	2					

## 別表第2 (第5条関係)

工学研究科

博士後期課程

領域	授 業 科 目	単 位				備 考
		講義	演習	実験	実習	
物 質 創 製 工 学 領 域	光化学特論	2				<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学研究特別実験は後期課程を通して、6単位を修得すること。</li> <li>・工学研究特別実習、工学研究特別演習、国際インターンシップ及び技術経営論は必修とする。</li> <li>・工学研究特別演習に領域間交流ゼミを含める。</li> <li>・講義科目、実習科目のうち所属する領域から6単位を修得することとし、そのうち2単位は他領域の講義科目または開放領域科目で振替えて修得することができる。※</li> </ul>
	分子化学特論	2				
	分光分析化学特論	2				
	無機分離化学特論	2				
	錯体化学特論	2				
	地球化学特論	2				
	有機化学特論	2				
	有機触媒化学特論	2				
	無機物性化学特論	2				
	機能材料特論	2				
	システム材料化学特論	2				
	光機能有機材料特論	2				
	有機金属材料化学特論	2				
	界面物性工学特論	2				
	複合体機能工学特論	2				
	高分子物性工学特論	2				
	☆複合体物性工学特論	2				
	生体関連化学特論	2				
	生体機能化学特論	2				
	生体材料化学特論	2				
	計算化学特論	2				
	生体高分子工学特論	2				
	生物機能材料工学特論	2				
	バイオナノプロセス工学特論	2				
	繊維構造科学特論	2				
	生体機能構造物性学特論	2				
	生体物質化学特論	2				
	生体分子計測学特論	2				
	物質創製工学特論Ⅰ	2				
	物質創製工学特論Ⅱ	2				
☆医用画像基礎原理特論	2					

☆は開放専攻科目である。

専攻	授業科目	単位				備考
		講義	演習	実験	実習	
先端生産システム工学領域	熱流体力学特論	2				<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学研究特別実験は後期課程を通して、6単位を修得すること。</li> <li>・工学研究特別実習、工学研究特別演習、国際インターンシップ及び技術経営論は必修とする。</li> <li>・工学研究特別演習に領域間交流ゼミを含める。</li> <li>・講義科目、実習科目のうち所属する領域から6単位を修得することとし、そのうち2単位は他領域の講義科目または開放領域科目で振替えて修得することができる。※</li> </ul>
	エネルギー変換特論	2				
	エネルギー計測学特論	2				
	エネルギーシステム特論	2				
	構造強度学特論	2				
	材料システム特論	2				
	メカトロニクス工学特論	2				
	☆医工連携システムと制御工学特論	2				
	☆医工連携先端荷電ビーム特論	2				
	☆医工連携放射線制御・計測特論	2				
	非線形系の安定性特論	2				
	構造と振動騒音予測工学特論	2				
	熱流体シミュレーション特論	2				
	歯車生産技術特論	2				
	高分子微細構造特論	2				
	トライボロジー特論	2				
	先端材料加工プロセス特論	2				
	超精密・微細加工特論	2				
	量子デバイス特論	2				
電子材料特論	2					
計算機工学特論	2					

☆は開放専攻科目である。

専攻	授業科目	単位				備考
		講義	演習	実験	実習	
環境創生工学領域	エネルギー転換利用工学特論	2				<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学研究特別実験は後期課程を通して、6単位を修得すること。</li> <li>・工学研究特別実習、工学研究特別演習、国際インターンシップ及び技術経営論は必修とする。</li> <li>・工学研究特別演習に領域間交流ゼミを含める。</li> <li>・講義科目、実習科目のうち所属する領域から6単位を修得することとし、そのうち2単位は他領域の講義科目または開放領域科目で振替えて修得することができる。</li> </ul> ※
	カーボン材料工学特論	2				
	環境エネルギー工学特論	2				
	バイオエンジニアリング特論	2				
	微小環境操作特論	2				
	環境創生工学特論	2				
	構造設計工学特論	2				
	地盤環境工学特論	2				
	流域環境学特論	2				
	災害社会工学特論	2				
	環境共生エネルギー改質工学	2				
	クリーンコール工学	2				
	ジョブマネジメント実習				1	
	プロジェクト管理実習				1	

専攻	授業科目	単位				備考
		講義	演習	実験	実習	
電子情報工学領域	電子材料物性特論	2				<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学研究特別実験は後期課程を通して、6単位を修得すること。</li> <li>・工学研究特別実習、工学研究特別演習、国際インターンシップ及び技術経営論は必修とする。</li> <li>・工学研究特別演習に領域間交流ゼミを含める。</li> <li>・講義科目、実習科目のうち所属する領域から6単位を修得することとし、そのうち2単位は他領域の講義科目または開放領域科目で振替えて修得することができる。</li> </ul> ※
	固体物性工学特論	2				
	電子デバイス工学特論	2				
	電気理論特論	2				
	エネルギー変換工学特論	2				
	気体電子工学特論	2				
	量子電子工学特論	2				
	計測制御工学特論	2				
	電磁波工学特論	2				
	電子通信工学特論	2				
	☆医工連携先進イオンビーム応用工学特論	2				
	☆先進超音波医用工学特論	2				
	☆医用画像基礎原理特論	2				
	情報工学特論	2				
	知能システム工学特論	2				
	先端電子工学特論	2				
	先端電気工学特論	2				
	先端通信工学特論	2				
	電気電子工学特別講義Ⅰ	1				
	電気電子工学特別講義Ⅱ	1				
	応用物理学特論	2				
	物性物理学特論	2				
	数理物理学特論	2				
	情報数理工学特論	2				
	離散システム工学特論	2				
	経営工学特論	2				
	計算理論特論	2				
	ソフトウェア工学特論	2				
	計算機工学特論	2				
	情報通信工学特論	2				
	情報システム工学特論	2				
	人工知能特論	2				
	画像情報工学特論	2				
	知識情報工学特論	2				
	☆情報処理特論	2				
	情報工学特別講義第一	1				
	情報工学特別講義第二	1				
	☆応用解析学特論	2				
	☆数理解析学特論	2				
	☆関数解析学特論	2				
	☆応用代数学特論	2				
	立体表示技術	2				
	電子回路工学特論	2				
パワーエレクトロニクス回路工学特論	2					
アナログ集積回路工学特論	2					
システム集積回路工学特論	2					
次世代集積回路工学特論	2					
半導体製造技術	2					

☆は開放専攻科目である。



専攻	授業科目	単 位				備 考
		講義	演習	実験	実習	
研究科 共通科目	領域間交流ゼミ				1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各専攻の規程に従う。</li> <li>・派遣型インターンシップを修得した場合は、工学研究特別実習も修得したこととする</li> </ul>
	国際インターンシップ				1	
	派遣型インターンシップ				2	
	技術経営論	2				
	工学研究特別実験			6		
	工学研究特別演習					
	工学研究特別実習					
	事業計画作成実習				2	
自己表現スキル		1				
開放 領域 科目	応用解析学特論	2				
	数理解析学特論	2				
	関数解析学特論	2				
	応用代数学特論	2				
	複合体物性工学特論	2				
	情報処理特論	2				
	医工連携先端荷電ビーム特論	2				
	医工連携放射線制御・計測特論	2				
	医工連携先進イオンビーム応用工学特論	2				
	医工連携システムと制御工学特論	2				
	先進超音波医用工学特論	2				
	医用画像基礎原理特論	2				